

自 求 成 遂

学校教育目標 「自ら求め成し遂げる」

目標をもち、その実現のために努力を重ね、やり遂げる、成し遂げる生徒たちの姿が増える

一人一人の生徒が自信をもって動き出す

◎高め合いで互いの力がさらに伸びる

◎学び合いで確かな力が身につく ◎支え合いで安心感が高まる

すべての人たちでめざす学校像（重点目標）

# 支え合う学校 高め合う学校

教職員がチームになって 生徒同士が関わり合っ 保護者、地域のみなさんも

学校におけるすべての教育活動と家庭・地域の教育的な活動の中で「支え合う」「高め合う」場面を強調し、新たに創り出し、その姿を引き出していく。

研究推進部	学習向上推進部	生活向上部	特別活動向上部
<p>◎校内の3つの新しい授業づくりの流れが整う。</p> <p>（3つの流れ）</p> <p>①授業研究の流れ 《研修テーマ》 自求心をかきたてる授業をめざして～「対話的な学び」でどの子にも深まる学び～</p> <p>②ICT活用研究の流れ ⇒タブレットを活用した授業の推進</p> <p>③令和の日本型学校教育等を学ぶ流れ ⇒学習会等を校内研修に位置づける</p>	<p>◎北中で充実している学習環境のユニバーサルデザインを「授業」においても進め、生徒の学びがさらに広がる。 ⇒研推部との連携</p> <p>◎ICTの活用がさらに進み、生徒の学びがさらに豊かになる。 ⇒ICT推進員が中心になって展開</p> <p>○学習習慣の定着に向けた指導を重ね、学び合いの土台が強化される。</p> <p>○道徳は重点項目を中心に実践が積み重なる。</p>	<p>◎今後10年間の北中の安定をつくるために必要な生徒指導体制が整う。</p> <p>（3つの柱）</p> <p>①より高い共通理解に基づく生活指導の推進 ⇒教師用指導マニュアルの共通理解に基づく指導</p> <p>②より深い生徒理解に基づく生徒支援の充実 ⇒KJQの有効活用（事後研修会の実施等）</p> <p>③生活指導上の課題への新たな対応、積極的な対応 ⇒「生徒支援会議」による対策の確認と支援 ⇒情報モラルを高める指導</p>	<p>◎「北中特別活動の指導のおさえ」の共通理解のもと、これまで以上に生徒に力をつけ、力を引き出し、力を伸ばす指導・支援が展開される。</p> <p>《北中特別活動指導のおさえ》 教師の適切な指導のもと、生徒が前面に出て「提案」「運営」「解決」を経験させることを基本として指導、支援を行う。</p> <p>（生徒の力を引き出す具体的な場面の例）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コーラスフェスティバル 期日：9月21日（水）</li> <li>・スポーツフェスティバル 期日：10月12日（水）</li> <li>・その他 学級、学年の日常の場面</li> </ul>
<p>授業のユニバーサルデザイン化の推進</p>	<p>特別支援教育の充実</p>		<p>ユニバーサルデザインの考え方を学習環境に生かす</p>
<p>*すべての生徒の学校生活のために話し合い、行動する。</p>		<p style="text-align: center;"><b>運営委員会</b></p> <p>*すべての教育活動の調整をし、その運営に責任を持つ。</p>	
<p>北小と東小、そして地域とのよりよいつながりを形にする小中一貫教育、コミュニティ・スクールの推進</p>			

P) 教育課程に基づいた計画 ⇒ D) ねらい（目的）をおさえた指導・支援 ⇒ C) アンケート等 ⇒ A) 修正とさらなる指導・支援